

◇第4回「ジャーナリストをめざす日韓学生フォーラム」参加者募集案内◇

2019年3月

日韓学生フォーラム実行委員会

日韓学生フォーラムと銘打ったこの試みは、ジャーナリストを目指す日本と韓国の学生が集い、それぞれの問題意識を共有しながら、ジャーナリストとしての視点を育んでもらおうと企画しました。第1回は2017年11月に韓国ソウル、第2回は原爆の日に合わせて昨年8月に広島、そして第3回は辺野古への米軍基地建設問題で揺れる沖縄で開催しました。それぞれ日韓を中心に約30人の学生が参加し、交流を深めました。第4回は今年5月、「韓国のデモクラシー学ぶ旅」をテーマに、韓国の光州(クワンジュ)とソウルを訪れます。

1980年5月に起きた光州事件では、民主化を叫んでデモに参加した多くの市民が犠牲になりました。この時、光州は孤立したといえます。その教訓から1987年6月の民主化闘争では、全土で民主化を求めるデモが起きました。韓国でデモクラシーがどのようにして実現したのかを、現場を直接訪ねて学んでほしいと思います。光州では5月18日に犠牲者を偲ぶ追悼行事が行われます。こうした行事にも参加します。また、民主化によって生まれた「ハンギョレ新聞」の歴史も学びます。

○フォーラムの概要

■日時： 2019年5月17日(金)～20日(月) 3泊4日 光州に現地集合。ソウルで1泊し解散

■予定プログラム(4月中旬までに決定)

- ・光州：光州の大学生との交流、光州事件体験者の話を聞く会、光州の新聞社見学
- ・ソウル：南宮洞見学、延世大学見学、ハンギョレ新聞社見学
- ・韓国民主化運動関係者との対談など

■費用

・宿泊(1泊約3000円程度×3泊)、韓国現地での交通費、食費別で2万円程度

＊実行委員・事務局も同行します。

■募集： ジャーナリズム関係の大学研究者、日本ジャーナリスト会議、新聞労連などを通して呼びかけ。

＊参加学生の目安 日本側？人、韓国側？人

■申し込み先 日本ジャーナリスト会議(JCJ)・須貝 JKforum17@gmail.com

〈氏名・所属大学・学年 連絡先メール・携帯 を明記〉

■問い合わせ 須貝道雄(090-2538-0208)

植村隆(090-8694-3342)

文聖姫(090-8775-7810)

古川英一(090-4070-3172)

■申し込み締め切り 2019年4月17日(水) ＊定員に達した場合、早めに締め切ることもあります。

○実行委員

・新崎盛吾(新聞労連元委員長、共同通信記者)、植村隆(韓国カトリック大客員教授、週刊金曜日発行人)、須貝道雄(JCJ、元日経新聞記者)、往住嘉文(JCJ、元北海道新聞編集委員)、菱木一美(広島

修道大名譽教授、元共同通信論説副委員長)、古川英一(JCJ、元NHK記者)、水野孝昭(神田外語
大教授、元朝日新聞論説委員)、南彰(新聞労連委員長、朝日新聞記者)ほか